



# Rotary International District 2800 山形西ロータリークラブ会報

会長：東海林 健登 幹事：武田 岳彦

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

地区目標

中核的価値観のもと、時流対応の時  
～奉仕の心の醸成と実践するロータリアン～

クラブテーマ

ロータリーの価値を改めて考え、そして楽しむ

◆点鐘：東海林健登 会長

◆ロータリーソング：割愛

◆司会：浦山 潔 S.A.A.

◆会場：山形グランドホテル



Yamagata West Rotary

第2923回例会

令和3年10月4日(月)

## 会長あいさつ

東海林 健登 会長



東京ロータリークラブの創始者であり、日本ロータリーの発展に偉大な足跡を残された故米山梅吉翁の遺徳を記念し、日本が太平洋戦争で世界の国々、特にアジアの諸国に与えた被害に対する反省から、「アジア地域の優秀な学生を招き、わが国

で勉学の機会を与えること」を目的とし、1952年に東京ロータリークラブの会長、古沢文作氏によって設立されたのが米山奨学制度であります。1953年4月から米山基金として募金を開始し、1954年9月に奨学生第1号として、タイ国からソムチャード君を受け入れたとのことあります。

東京ロータリークラブで始められたこの事業は、やがて日本の全クラブの共同事業に発展し、1967年、文部省の許可を得て「財団法人ロータリー米山奨学会」となりました。今日まで支援してきた奨学生、その出身国、は世界129カ国と地域に及んでおります。

また当クラブでは、今年3月まで米山奨学生としてベトナムからチャン・ダン君をお招きしてカウンセラーとして後藤章洋さんに就任いただき、世話クラブをして参りました。今年度は、本日も越しいただいたシンエイさんのサブ世話クラブをしております。よろしくお願いたします。

また地区の米山奨学学友委員会委員長に芦野茂さんを排出させていただいております。芦野さんにおかれましては、皆さまもご覧になっていると思いますけれども、『ガバナー月信』9月号3ページに掲載された地区委員会報告のとおり、矢口ガバナー年度の最初の公式行事である米山奨学学友セミナーにおいて、司会兼委員長挨拶などをされ立派に地区委員長の任を務めておられます。今後ともクラブを背負って、ひとつ頑張ってくださいと思います。

今月は米山月間であります。「米山奨学事業の意義を深く認識し、寄付金を募る活動に力を入れましょう」という月間でもありますので、皆さまご協力、よろしくお願いたいたします。

## 幹事報告

武田 岳彦 幹事

- 先日7ロータリーゴルフコンペが開催され、わがクラブは準優勝でした。参加をいただいた皆さん、ありがとうございました。来年はぜひ優勝を目指していただきたいと思います。
- 本日は短縮例会です。本日は、弁当を持ち帰る方と会場で食べる方、皆さんのご判断で選んでいただきたいと思います。食事会場は「アルプス」になっておりますのでそちらでお食事をしていただければと思います。
- 本日例会終了後、理事会を開会いたします。理事の皆さまはお残りください。
- 本日、指名委員会がございます。18時半からの開会となりますので、ご案内のある方はお間違いのないようご出席いただきますようお願いいたします。
- 10月のロータリーレートは112円です。

## ニコニコBOX

〈10月4日〉

**東海林健登会長**／米山奨学生シンエイさんとガバナーノミニイ藤三之様をお招きできたことにニコニコします。

**市村清勝会長エレクト**／伊藤三之さんをお迎えしてこのタイミングで7ロータリーコンペで優勝できることがすごいです！

**伊藤三之さん**／本日は奨学生のシンエイさんと一緒にお招きいただき、ありがとうございます！

**武田元裕さん**／伊藤三之さんようこそ！米山奨学生、シンエイさんようこそ西クラブへ。

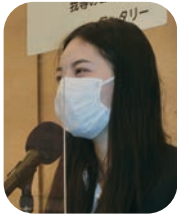
**五十嵐信さん**／伊藤三之さんを歓迎して旧友の伊藤三之さんを心から歓迎します。

## 7ロータリーゴルフコンペ



10月2日曜日にゴルフコンペが開催されました。我が西RCは第2位でした！おめでとうございます！！

## ゲスト卓話



### 中国と日本の架け橋になりたいくて

秦 穎 (シンエイ) さん

米山奨学生

はじめまして。秦穎(シンエイ)と申します。今は山形北ロータリークラブの米山奨学生です。

私のふるさは中国の河南省です。河南省は黄河の南のほうにあります。しかし河南省は南方ではなくて北方に属します。ですから河南省は上海より北京に近くて、普通の列車で6時間くらいで着きます。上海までだと高速列車で6時間で、普通の列車はどうしても10時間以上かかります。1晩中列車の中にあるベッドに寝て、翌日の朝に着きます。河南省はだいたい中国の地図で真ん中の部分にあって、どこに行っても交通が便利だと思います。

私は中国の大学を卒業して、山形大学に進学しました。今は山形大学で日本語について学んでいて、大学院2年生です。大学3年生の時にも山形大学に1年間の留学をしたことがあります。合わせて山形市に3年ぐらい生活してきました。とても楽しんでいました。

去年の冬に面接申請を受けて、今年の4月に正式に米山奨学生になりました。もう半年過ぎました。早かったなと思えました。中国ではこんな一言があります。「幸せの時間はいつも早く飛んでいます」。そのとおりだと思います。早いですが、幸せでした。皆さまからいろんなお世話になりまして、私の最後の学生時代に温かさを感じることができず。これからもこの幸せな感じを大切にしながら生きていきたいと思います。

来年の3月に学業を修了して、いよいよ就職に入ります。就職のほうは中国に帰って上海で日本語教育に関する仕事をやりたいです。日本にも留まらなくて、ふるさとの河南省にも帰れなくても皆さまと親の力をもって上海でがんばります。

私の中国での大学は河南師範大学で、専門は日本語ですが、教育に関する課程、教育とか教育学とか教育心理学とかも勉強して、卒業する際に学校から教師資格の資格証を取りました。中国に帰って最優先で教育に関する仕事を探します。上海に限らなく、山東省や大連、飛行機で1時間2時間ぐらいで日本に着ける日系の企業がたくさんありますので、そんなところで仕事をしたいと思っています。

10月に入ると学校の新学期が始まりましたが、私は単位を十分に取りましたので、学校で授業を受けません。大きな作業は論文、修論を書くことになります。もうすぐ、来週の水曜日に学位論文の中間発表会があって、パワーポイントとかを使って皆様のような先生たちに発表をします。

5月の時に1回その論文のタイトルを学校に出しますが、もし変更する必要があるれば、10月の末にもう1回変更する機会があります。でも10月は新学期の始まりですが、ストレス感があって、もし論文のタイトルが決まらなと、さらに進まないですね。だから10月は一番重要な始まりだと思えます。

今日は初めて西ロータリークラブの卓話例会に参加させていただいて、とても嬉しくて、もし機会があればみんなと一緒に話したいと思っています。ありがとうございます。

## ゲスト卓話



伊藤 三之 氏

カウンセラー

山形北RCガバナーノミニ

山形北の伊藤でございます。中国からの留学生、秦穎さんのカウンセラーを仰せつかっております。秦穎さんには月1回の例会と、例えばビアパーティにも来ていただきましたし、先日の早朝掃除例会にも来ていただいて、真面目にやっていただいております。また、突然「はい、卓話を延長して」と言われても、自分のこととかを日本語で意思疎通できる語学能力を持っておりまして、来年4月から上海のほうで仕事をすることですが、基本はこの表題どおり、日本と中国をつなぐ、彼女の専門勉強分野は日本語と中国、中国語が日本語にどう影響を及ぼしているかというような切り口で勉強しているんだそうです。非常に言葉堪能であります。今後もそういった歴史とか、教育の分野で特に関わっていききたいということですから、ぜひ日本と中国の架け橋となって、米山奨学会の目的を達成していただければと思っております。私はカウンセラーを引き受けさせてもらっております。

ご存じのように米山奨学会といえますのは、わが国の民間の団体として海外の留学生を援助する組織としては最大のものであります。年間860人から880人くらい、毎年、アジアを中心に海外からの留学生を援助しているということでもあります。米山梅吉翁が亡くなったのが1946年で、米山奨学会が作られたのが1952年。それから6年経ったあとに東京ロータリーのメンバーが、あの米山翁の、日本と世界をつなぐという思いをなんとか形にできないかといって立ち上げたのが、この米山奨学会ということになります。後に一般財団法人米山記念奨学会という組織にもなったわけですが、意外と勘違いされているのが、亡くなった時に相当の遺産があったんだらうと。その遺産運用しているのがこの米山記念奨学会なんだよね、と思われる方が実は多いんだということを米山財団の方がおっしゃっていましたが、結論は米山翁の遺産が1円も入っておりません。米山翁というのは自分の企業、いろんなものを興したけれども最後は、「財を残して死するは恥なり」という哲学を持っておられたようでありまして、いろんなボランティア事業や、あとは大学関係では青山学院関係、大学の整備、幼稚園の整備とか、それからもちろんロータリークラブのことにほとんどの財産をつぎ込んで、とてもとてもこんなものを継続できるほどの財を残した方でもなかったそうですが、いずれにしてもこの米山記念奨学会といえますのは、ほんとに日本国内すべてのロータリアンの浄財によってそれが作られ、それが運営されているということだそうであります。

このコロナの状況ではありますが、私も秦穎さんも、お酒は好きでありますので、もし、クリスマス家族会ですとか新年会ですとか、機会があれば、秦穎さんと同時に私も呼んでいただいでですね、いつでもお邪魔いたしますので、今後ともよろしく願います。ありがとうございます。

本日出席 (10 / 4)	会員総数	出席会員数
	99名	68名 + ズーム参加8名